



法要に華を添えた
かわいらしいお稚児さんたち



当日までにたくさんの方がお寺をピカピカに掃除してくださいました！見えないご苦勞をいただきて無事円成した大法要でした！



安下処諷經 宮崎家



ご詠歌



問答する弁事・董元くん



住職就任式では遠近よりたくさんのお坊さんが来てくれました。共に修行を行った方や修行時代に指導して下さった方、どの方も僧侶として歩む上でなくてはならない大切なことを教えてくださいました。初心を思う二日間でした。



北斗支援高等学校
生徒さんが
連日窓清掃に！



檀信徒作務



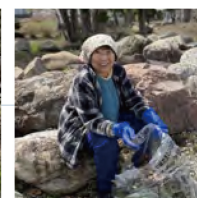
法要後片付け作業



婦人会お供物作り



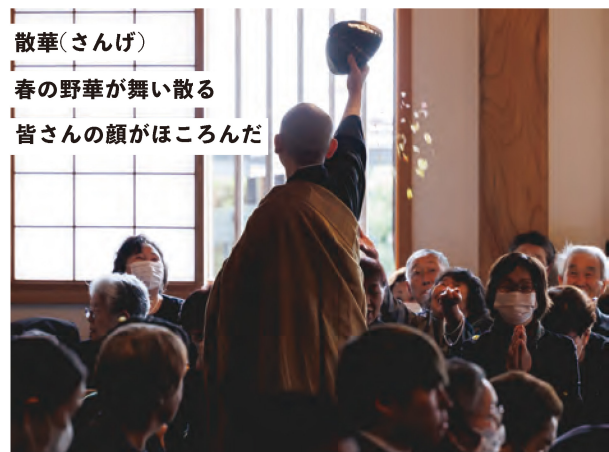
お装袋のアイロン掛け



岩手から一期師も



法要の「食」を支えた婦人会の皆さんと



散華(さんげ)
春の野華が舞い散る
皆さんの顔がほころんだ



多くの人に見守られての大法要

開創三百周年記念大法要。大きく分けて四つの法要がありました。まずは広徳寺の三百歳をお祝いする慶讃大般若（けいさんだいはん）というご祈禱。孫悟空の『西遊記』で有名な玄奘三蔵法師（げんじょうさんぞうほうし）がインドから中国に持ち帰った経巻のひとつ、『大般若経』六百巻を三十人以上の僧侶が、お経本をばらばらと広げて読み上げる転読（てんどく）をしました。大勢で唱える般若心経は地の底から湧き出でくるような庄巻の迫力。また、式中には春の花びらが参りの方にまかれ、お祝いにふさわしい華々しい法要となりました。二つ目には先々代六世住職のご法事が営まれ、歴代の広徳寺を護ってきた方々に報恩感謝のお拝がなされ、その後、退董式（たいとうしき）という七世元英住職の退任式がありました。三つ目には住職就任の儀式である晋山式（しんさんしき）。当日は雨マークがとれず、稚児行列ができるか心配でしたが、なんとか雨降らず無事終えることができたホッとしています。続く、新しい住職としてふさわしいかどうかを問われる禅問答では、本堂中央の壇上に立ち力量を試され緊張の連続でした。最後に、イギリスより法要に参加した慈龍さんが首座という役を勤めた法戦式（ほっせんしき）。他のお坊さんから坐禅をテーマに禅問答を飛び交いました。住職長男の董元も弁事というお役目を堂々と果たしましたよ！



こちらのショート動画が見られます！





廣徳七世・元英さんご夫妻36年間に渡りお疲れ様でございました。
(8人の孫たちに囲まれて)



孫たちから花束の贈呈



東堂さん奥さん、ありがとう

七世元英住職での退任式（退董式）では道内各地の永平寺での修行仲間が駆けつけました。七世は広徳寺の伽藍を奥さん、檀信徒と共に三十六年間の長きにわたって整備した功績があります。法要終わって総代長宮崎高志さんから慰労の言葉があり、檀信徒・ご家族・家族から花束贈呈がありました。元英住職は退任しますが終わりではありません。今後は東堂（とうどう）と呼ばれ、皆様のお参りにもこれまでと変わらず参ります。今後とも宜しくお願い致します！



広徳寺の最新情報

広徳寺は公式「LINE」を利用し今後の法事、月参りのご連絡、行事のお知らせ等、充実させていきたいと考えております。ご利用の方は友達追加をしていただけると、とっても嬉しいですよ！



@305wbdna

令和元年10月から始まった開創三百周年事業のしめくりとして、令和7年5月10日11日の2日間に亘り大法要が修行され、遠くはイギリス・スリランカ、日本国内外から80人の僧侶と延べ260人を超える参列者の皆様と共に、また、当日はご参加できなかったけれど遠近より心をお寄せ下さった方と共に無事大円成就することができたと、心より感謝申し上げます。

大法要を迎える前までに、お檀家の方々のみならず地域の沢山のご協力あって、その日を迎えることができました。30人を超えるお檀家さんと共に境内の草も抜きました、落ち葉を集めました、窓は北斗高等支援学校の生徒さん先生方がまったくの奉仕でピカピカに磨いてくれました。その気持ちの強さに圧倒されました。一年間かけてお袈裟も縫いました。法要数日前に、最後にお袈裟のしわをとりアイロンがけしてくれて方もいました。何より36年に亘って勤め上げた前住職夫妻の思い、余命宣告されている中、まさに命がけの法要でした。また病気の身体を押して駐車場整理して下さった方もいました。一人一人挙げると数えきれないくらいの思いが両日に凝縮された分、住職就任の為の問答では、私自身、これ以上ないくらい渾身でした。渾身に払子を振り、臓腑の底から言葉が湧き出てきました。人間、身体の内真ん中から震えると、涙も出てきました。300年に亘る、今は亡き人の思い、今を生き抜く人の思い、これから生れ落ちる人の思い、過現末に亘る思いが本堂の須弥壇上に交差していたからこそ、打ち震えた。打ち震えた本堂を祝う大般若祈祷では、春の野花が虚空に舞った。

私が今ここに至るまでに、僧侶という道を歩む上で、この人がいなければ今ここにいなかっただろう、たくさんの方に見守っていただいた日でもありました。応援してもらいたい人にたくさん応援してもらった分、この地域でかかっている皆さんの人々たちを私も応援したい。今ははればれと大らかな気持ちです。

たくさんの方の感謝の気持ちをまだ伝えきれない人もいます。これからゆっくり急がず、私の生き方を通して返すべきものもあるのだという、そういう気持ちです。これからも広徳寺を宜しくお願い致します。合掌。

台ふきんありがとう

前号の台ふきん募集をみて、手寧に縫われた台ふきん・タオルを沢山の方が寄贈してくださいました。おかげさまで当分、台ふきんには困らなそうです。皆様お心遣いありがとうございます。子ども食堂やお寺の行事の際に大切に使用させていただきます。タオルが沢山集まりましたので縫い手はまだまだ募集中です。お寺までご連絡ください。

新規納骨壇増設

納骨壇利用者が増え、三段型の納骨壇が新規に増設されました。お位牌を安置する場所として、お骨を納める場所として幅広くご利用いただけます。広徳寺檀家の他、菩提寺を持たない方であればどなたでもご利用いただけます。ご希望の方は寺務所までお尋ね下さい。

